



奉納祭

白山サトヤマカイギ

ほうのうさい

日時 2024年8月17日(土)~20日(火)
会場 白山室堂・白峰地域
参加費 99,000円 (税込・3泊9食込)
参加者 定員100名 (先着順)



8/17(土)

12:00 金沢駅集合

バス移動 金沢駅→白山比咩神社

白山比咩神社参拝



バス移動 白山比咩神社→オリエンテーション会場

オリエンテーション

バス移動 オリエンテーション会場→白峰

白山市白峰着



自由時間

夕食

閉会

就寝

8/18(日)

朝食

白峰街歩き



昼食

自由時間

移動

バス移動 白峰→能楽会場

能楽鑑賞



バス移動 能楽会場→白峰

白峰(各宿泊施設着)

夕食

就寝

8/19(月)

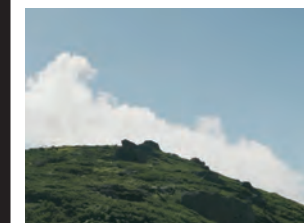
集合・点呼

移動 白峰→別当出合

別当出合登山口着

出発

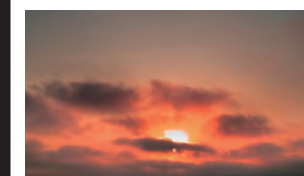
頂上着



三霊山シンポジウム

夕食

日の入



消灯

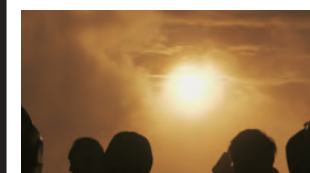
天体観測

8/20(火)

起床

山頂登山

ご来光・献歌



朝食

下山

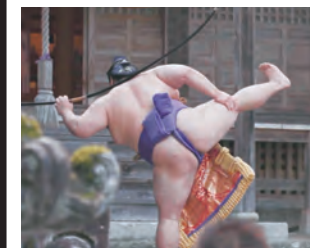
下山終了(白峰着)

自由時間



余白展見学、合同演奏会他

弓取式

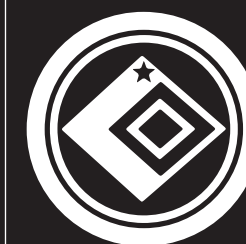


閉会白峰出発

バス移動 白峰→金沢駅

19:00 金沢駅・解散

※ プログラム内容は予告なく変更される可能性があります。ご了承ください。



一般社団法人
サトヤマカイギ

事務局: SMART HOTEL SOLUTIONS

お問合せ: 白山サトヤマカイギ奉納祭

運営担当/宮内・須知

☎ 045-577-0499

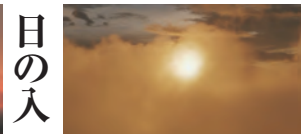
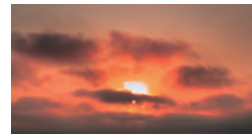
✉ info@satoyamakaigi.com

お申込み→



白山登山

本奉納祭のコンセプトである「自然」と「ツナグ」。霊峰白山は、大乘仏教の修行でもある山岳信仰の祖であります。山を登る修験者達は、この修行を通して、自我を抑えて、「自然」の神々へ感謝をしていました。そのような日本の精神文化を再度見直すため、我々も山を登り、「自然」に対峙及びリスペクトするきっかけを創ります。登頂後見える夕日や朝日、星空からは、私たちが太陽・星とともに生き、その動き方やあり方に深い意味・感謝を感じていた当時のあり方の一端を感じ取ります。



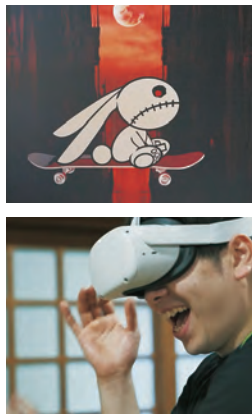
ご来光

日本相撲協会 弓取式

力士の四股名が、〇〇山、〇〇海、〇〇川、〇〇岩などと名付けられるように、相撲も元来、自然の神々を喜ばせるために取られていたものです。能楽堂と同様に、多くの神社には土俵が残り、今でも奉納相撲が行われている地域が多くあります。能と同様、人々が「自然」を崇拝していたことに触れ、「自然」とともにある私たち人間の現代の振る舞いを考えるキッカケを作ります。今回は奉納祭の締めくくりとして、弓取式を八坂神社の御神体に向かって行い、閉幕といたします。弓取式の演武の意味もご体験いただければと思います。

余白展
アーティスト

白峰地域では「自然」と「ツナグ」をテーマとした芸術展を行います。地域のお寺や空き家を活用したアート作品の展示や地元の民謡や和太鼓などの演奏も行われます。またこれら芸術を「自然」の中で触れる事で、ココロを動かし感覚的なものを論理よりも優先するキッカケを作ります。

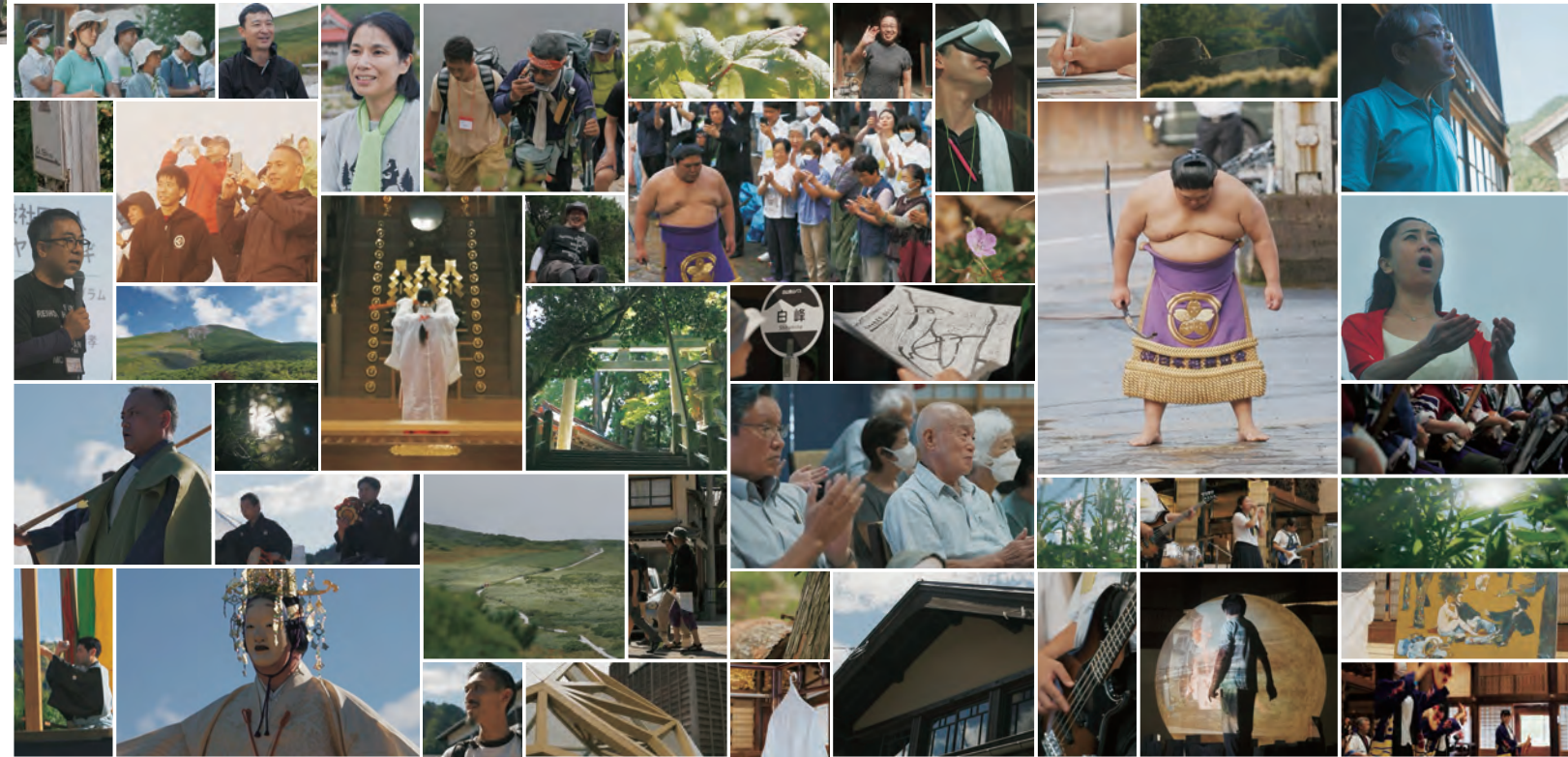
演奏会
合同

高校生

本祭のコンセプトである「自然」と「ツナグ」。今回は、ミライを担う高校生が「自然」と「ツナグ」をコンセプトに曲を演奏を披露する合同演奏会を実施します。高校生は、演奏を行う白峰地域の林西寺にて、住職の法話を聞かせて頂き「自然」と「ツナグ」とは何かを学びます。



白山サトヤマカイギ奉納祭とは



自然の循環を感じ全ての物事に感謝して、日本人の得意とする「ツナグ」精神を学ぶ

近代以降、経済合理性に従い、競争の価値観のもと生きてきた私たちですが、そんな世界にも経済面・実生活面ともに息苦しさが見え、限界が見えてきています。各々のもつ個性を発揮し、尊重し、共存できるかつてのような価値観を再度体感するために、本奉納祭では古代より人と深いかかわりを持ち、信仰の対象として崇拝された霊峰白山という場をお借りし、私たちが持つ感覚・感性に目を向けるための「余白」を、霊峰白山の自然・積み重なった歴史とともに体感します。

本年度はその山格、山容から「日本三霊山」として名高い富士山、立山、白山の修験者が一同に介し、修験者とともに登拝いたします。白山の麓では、日本の伝統文化“能”や“相撲”の特別開催や里山の民謡や食文化体験など“自然崇拝”の時間を提供します。

献歌



最終日の早朝には、標高2400mの室堂からさらに300mほどを半時間強ほど登り、山頂から朝日を拝みます。その時、朝日に向かって「君が代」を捧げます。「君が代」は、和をもって尊しとする日本の国家です。「君が代」の歌詞は、ひとりひとりがとても小さい存在であっても、自分の事情を優先せずに隣にある小さな石の事を思って、何千年の間寄り添ってツナイで行けば、大きな強い岩になるという歌詞です。日本の精神文化といえる自然崇拝の精神を尊び、「ツナグ」という日本人に脈々と受け継がれてきた意味を見つめなおす機会となります。

LECTURER
講師紹介

高志保 博孝 (たかしほ ひろたか)
一般社団法人サトヤマカイギ 代表理事



松木 千俊 (まつき ちとし)
観世流 能楽師 (一般社団法人 松の会 代表理事)



宮下 智裕 (みやした ともひろ)
金沢工業大学 建築学部 教授



三保ヶ関親方 (みほがせきおやかた)
日本相撲協会 社会貢献部



荒谷 大輔 (あらや だいすけ)
慶應義塾大学 文学部 教授



あすみ 和希 (あすみ あき)
ソプラノオペラ歌手

主催



一般社団法人サトヤマカイギ

共催
旅行企画

株式会社 YOSITAI

石川県知事登録
旅行業第地域-303号

協力

株式会社 百点 KIT 金沢工業大学 特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会 PRONE
SMART HOTEL SOLUTIONS ランドブレイン株式会社

後援

石川県 白山市 北國新聞
白山手取川ジオパーク推進協議会 白峰観光協会